

会社情報、株式情報

Corporate Data / Stock Information

会社概要 (2021年12月31日現在)

商号	株式会社ビジョン
創業	平成7年6月
設立	平成13年12月
本店所在地	〒163-1305 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー5階
資本金	2,387,915,000円
従業員数	485名 ※当社グループの従業員数 607名 ※上記従業員数には、使用人兼務役員及び臨時従業員 (パートタイマー及び派遣社員) は含んでおりません。
事業内容	1. グローバルWiFi事業 海外事業、国内事業 2. 情報通信サービス事業 固定通信事業、移動体通信事業、ブロードバンド事業、 OA機器販売事業、インターネットメディア事業 3. その他

役員 (2022年3月30日現在)

代表取締役社長兼CEO	佐野 健一
取締役常務執行役員CFO兼管理本部長	中本 新一
取締役常務執行役員COO兼営業本部長	大田 健司
取締役 役※	内藤 真一郎
取締役 役※	原田 静織
取締役 役※	那珂 通雅
常勤監査 役※	梅原 和彦
監査 役※	茂田井 純一
監査 役※	寛角 淳
監査 役※	中島 義則

※社外役員となっております。

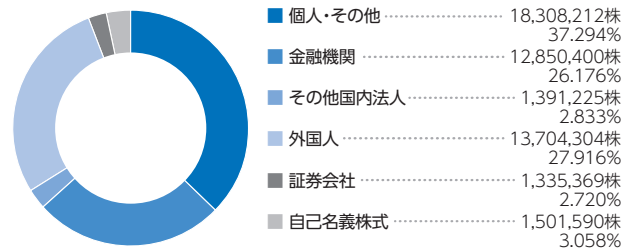
株式の状況 (2021年12月31日現在)

発行可能株式総数	123,000,000株
発行済株式の総数	49,091,100株
株主数	7,814名

大株主

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
佐野 健一	12,460,900	26.18
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	6,252,000	13.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,003,100	10.51
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,798,008	5.88
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,372,342	4.99

株式分布状況



※株式数比率について
小数点第4位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。

株主優待制度について

当社では、株主の皆様の日頃からのご愛顧、ご支援への感謝の気持ちをこめ、株主優待制度をご用意しています。

優待内容

- 当社サービスである国内外でモバイルインターネット通信が行えるWi-Fiルーターレンタルサービス「グローバルWiFi」の利用券を保有株式数に応じて贈呈。

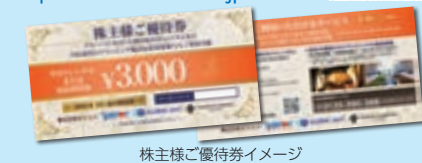
保有株式数	基準日	
	毎年6月30日	毎年12月31日
100株以上200株未満	3,000円分×2枚	3,000円分×2枚
200株以上300株未満	3,000円分×3枚	3,000円分×2枚
300株以上	3,000円分×3枚	3,000円分×3枚
送付時期	毎年8月	毎年3月
備考	到着日より利用可能	到着日より利用可能

ご利用方法・お問い合わせ先

株主様専用ページ (<https://vision-net.co.jp/stocks>) をご利用ください。
お電話でのお問合せ 受付時間 09:00~18:00
株主様専用ダイヤル 0120-390-388
※詳細は、「株主様ご優待券」記載の諸注意事項をご確認ください。

株主様専用ページはこちら

<https://vision-net.co.jp/stocks>



株主様ご優待券イメージ

株主メモ

証券コード 9416	剰余金の配当の基準日 12月31日、6月30日	郵送物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324	公告掲載方法 電子公告により行います。
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部	1単元の株式数 100株	各種手続取扱店 みずほ信託銀行株式会社 本店・支店 みずほ証券株式会社 本店・支店	公告掲載URL https://www.vision-net.co.jp/ やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
事業年度 1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社		
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3ヶ月以内	事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		
基準日 12月31日			



株式会社ビジョン
〒163-1305
東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー5階



株式会社ビジョン

証券コード：9416



BUSINESS REPORT

Vol.7

2021年1月1日▶2021年12月31日

ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略

Growth Strategy

既存事業の領域では「生産性の向上」、新規事業・サービス構築の領域では「3つ目の柱となる事業の育成」という方針の下、それぞれのターゲット顧客へ向けて、これからのニューノーマル時代に即した新しい価値の創出、新サービスの提供に努めていきます。

ニューノーマル時代に即した 新しい価値の創出、新サービスの提供

既存事業

生産性の向上

オンライン、ニューノーマルに順応
アップセル・クロスセル強化
(オンライン商談含む)

顧客
基盤

- スタートアップ成長過程の法人顧客
- 海外企業等と取引のある法人顧客

新規事業・サービス構築

3つ目の柱となる事業の育成

時代の変化に対応する
3本柱の事業体制

顧客
基盤

- 官公庁・自治体学校等
- 旅好きな個人顧客

業績ハイライト

Financial Highlights

(単位：百万円)	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期(予想)
売上高	17,554	21,503	27,318	16,654	18,100	22,736
営業利益	1,788	2,484	3,325	103	1,105	1,407
営業利益率(%)	10.2	11.6	12.2	0.6	6.1	6.2
経常利益	1,795	2,499	3,358	227	1,143	1,404
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,208	1,529	2,226	△1,183	729	921
総資産	11,483	13,552	15,173	11,313	14,932	—
純資産	8,586	9,803	10,905	8,769	10,122	—

Top Message



急速な環境変化を捉え、ウィズコロナ・アフターコロナ以降も続く時代のニーズに応える新しい価値を創造し、一層の企業価値向上を目指します。

昨年後半にはパンデミックも収束するかわかれ、経済も徐々に持ち直しの動きが見られましたが、感染力の強いオミクロン株の出現もあり、先行き不透明な状況が続いています。いまま治療や感染拡大の防止、社会機能の維持に尽力されている多くの皆様には、深く感謝申し上げます。

代表取締役社長兼CEO
佐野 健一

Q 2020年に続き、2021年もコロナに翻弄された一年となりました。このような状況の中、当期をどう評価されますか？

2021年12月期は、売上高が前期比14億円増、営業利益が10億円増、親会社株主に帰属する当期純利益が19億円増と、いずれも前期実績を上回る結果となりました。まずはコロナ禍以前の業績水準に向け、着実に回復していると考えています。

グローバルWiFi事業では、テレワークなど各種国内ニーズの獲得、コロナ水際対策として実施されているアプリ確認業務の受託により海外渡航者の減少をカバーし、売上17億円増、利益11億円増の増収増益となりました。また情報通信サービス事業では、電力小売価格の高騰に伴い取次手数料が減少したものの移動体通信機器など物販系商材が好調に推移したこと、月

額制自社サービスの拡販を強化したことにより一時的にコストが先行したことなどから売上は前期並み、利益は4億円のマイナスとなっています。

2022年12月期については、コロナ禍の影響など現時点では先行き不透明感があるものの、当社グループとしては引き続き成長戦略を加速していくこと、さらにグローバルWiFi事業において第4四半期より海外渡航者が一部回復するとの想定から、通期業績予想として売上高は前期から46億円増の227億円、営業利益は3億円増の14億円、親会社株主に帰属する当期純利益は2億円増の9億円を見込んでいます。

Q ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略の進捗についてお聞かせください。

事業上の優先課題として「生産性向上」「サービスラインナップ拡充」「アップセル・クロスセル強化」「収益構造のブラッシュアップ」「自社サービスの強化」などに取組んでおり、当期は、グローバルWiFi事業で法人向けサービスの拡販、新サービスの投入など需要回復時を見据えた施策を積極的に進めたほか、情報通信サービス事業では、長期・安定的な収益基盤の確立を図り強化しているストック収益および自社サービス（月額制）の売上総利益が10億円に到達しました。

さらに「ニューノーマル適応」「顧客基盤・販売チャネル・

事業体制の活用」「地方創生」などをキーワードに、既存2事業に続く3つ目の柱となる事業の育成を目指しており、当期はグランピング事業への参入を果たしています。

コロナ禍が続く中、当社グループは環境変化に左右されない強い組織づくりを目指し、一丸となって事業に取組んできました。徐々にではありますが、その成果は出始めています。海外渡航回復時には新サービスも加わって一段と強い会社となり、大きな飛躍を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



IR NEWS

日本IR協議会主催の「IR優良企業奨励賞」を受賞しました

積極的な情報開示、充実した決算説明会資料などが評価され、IR優良企業賞2021(第26回)奨励賞を受賞(初受賞)しました。これを励みに一層の企業価値向上に努めてまいります。



2022年4月4日より「東証プライム市場」となります

プライム市場のコンセプト「多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額（流動性）を持ち、より高いガバナンス水準を備え、投資者との建設的な対話を中心に据えて持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場」に沿った企業へ成長していきます。

成長戦略に向けた取り組み

超高速通信5Gプラン提供開始

アフターコロナの観光・ビジネス支援を目指し、海外用Wi-Fiルーターレンタルサービスとしては業界初となる超高速5Gプランの提供を開始しました。最初の接続可能エリアはハワイ・アメリカ本土となります。韓国・中国・香港・台湾をはじめ提供エリアを順次拡大する予定です。



株式会社あどばるを子会社化

月額定額制で全国200拠点を超えるレンタルスペース（貸し会議室・テレワーク向け）を運営する株式会社あどばるを子会社化しました。

顧客基盤、商品・サービス、取引先、ノウハウなどを相互に活用することにより売上増、仕入効率化、コスト低減などの効果が期待でき中長期的な企業価値向上につながると考えています。



グランピング事業への参入『VISION GLAMPING Resort & Spa』

新規にグランピング事業を立ち上げました。この4月には鹿児島県霧島市「こしかの温泉」、続いて夏には山梨県山中湖村での開業を予定しています。

これまで培ってきた集客力・顧客基盤・IoT活用力などの強みを生かし、第3の柱となる事業へと成長を目指します。



集客	顧客基盤	IoT
●WEBマーケティング ●ターゲットマーケティング ●旅行代理店等のパートナー ●インバウンド旅行者向けに海外子会社及び空港カウンター	●旅行好きなグローバルWiFi事業の国内外のお客様及び情報通信サービス事業等の既存のお客様	●空港カウンター等で行っているIoTを活用したニューノーマルに対応した最小接触、ローコストオペレーション

ESG+SDGs

情報通信の未来を、すべての人たちの未来のために

当社は「世の中の情報通信産業革命に貢献します。」を理念とし、ICTの活用による世界貢献を目指しています。またESG経営の推進、SDGsの取り組みを通じて経済価値・社会価値の両立を実現することこそ当社の存在意義であり、ステークホルダーに対する責任であると考えています。

